

不明疾病の現地調査表（病鑑 No.102）

- 1 届出年月日時間：平成22年5月12日 10:00
- 2 届出者：[REDACTED]
- 3 発生農場
氏名：[REDACTED]
住所：川南町大字川南 [REDACTED]
- 4 飼養頭数：繁殖母豚22頭、子豚約180頭、種豚(♂)3頭、 合計：約205頭
- 5 家畜保健衛生所立入調査
・ 11:30 農場到着
・ 12:30 採材終了

6 病畜の概要

農場稟告（5/12）

母豚2頭に症状あり。1頭は5/6の分娩時に2番目の乳房に大きな水疱を認めたがその他には異常が見られなかった。5/12急に食欲が低下し、右前肢から出血し、跛行している。40.8℃で哺乳豚が1頭死んでいた。もう1頭は咳をするのでアンピシリンを投与していた。今日は食欲低下し、鼻に傷がある。子豚も衰弱し、跛行している。

家保立入（5/12）岩田、藤本、白戸

No. 1：著変なし

No. 2：鼻、右前肢蹄冠、乳房に水疱・糜爛が見られた。哺乳豚1頭の蹄も糜爛。

No. 3：鼻、左後足蹄冠、乳房に水疱・糜爛。起立不能。哺乳豚1頭が衰弱死。

7 給与飼料：

[REDACTED]

8 過去7日間に立ち入った者の有無

夫妻2人で農場の管理を行っている。子供（会社員）は農場に入らない。7日間で農場に入った者はなし。他の農場にも行っていない。飼料の運送会社は敷地の入口までで農場内には入れていない。

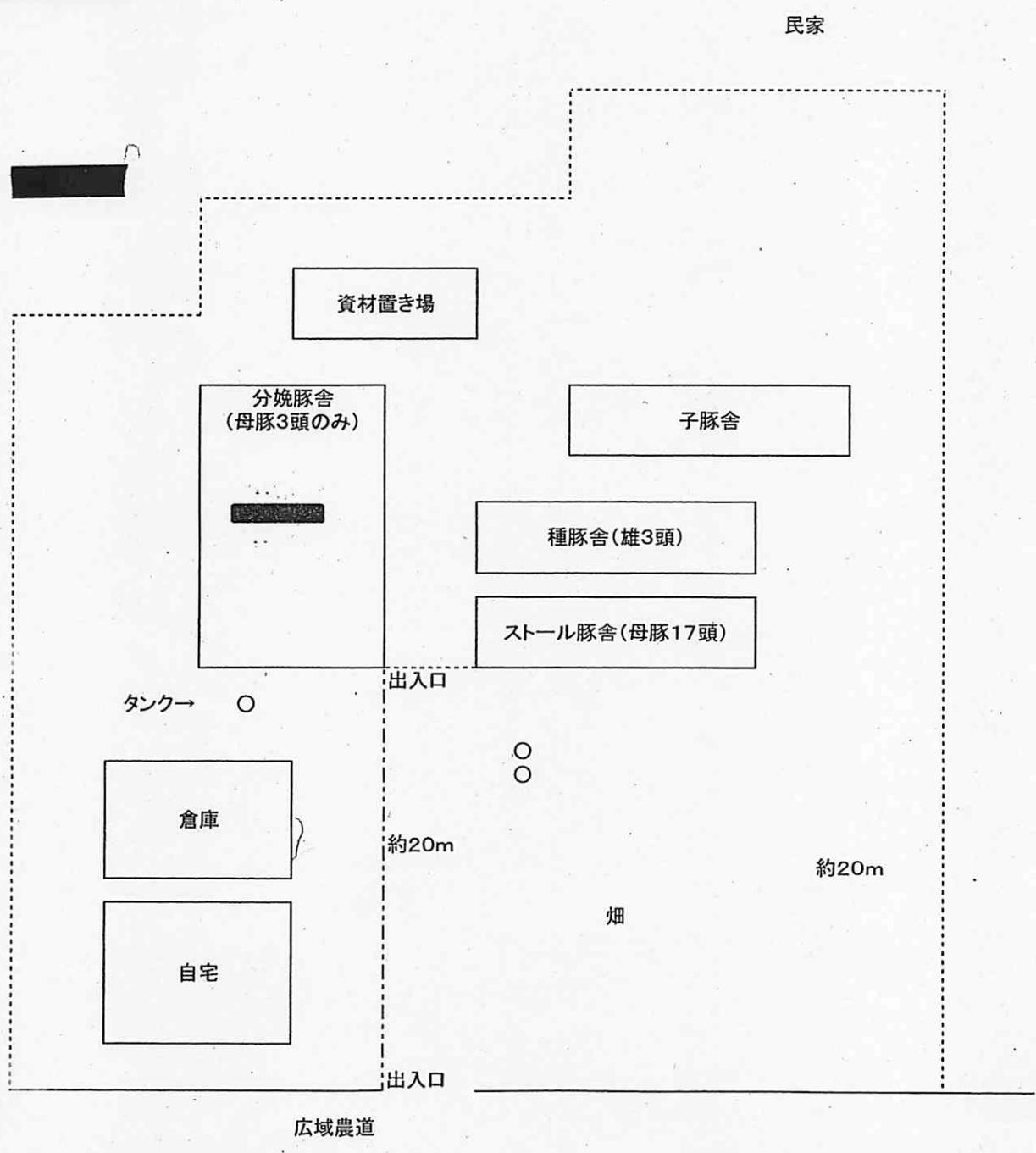
9 その他

近隣農家は [REDACTED] 等。

発症豚2頭は分娩舎におり、分娩舎は発症豚2頭を含めた3頭しか入っていなかった。
また、分娩舎はカーテンと鍵付きのガラス窓が設置されていたので、原則ガラス窓とカーテンを閉め、分娩舎の管理を最後にするよう指導した。

検体リスト

検体No.	畜種	用途	血液	スワブor 組織	症状
1	豚	繁殖	○	○	著変なし。No. 2、3の隣ストール
2	豚	繁殖	○	○	鼻・右前肢蹄冠・乳房の水疱・糜爛。哺乳豚1頭の蹄も糜爛。
3	豚	繁殖	○	○	鼻・左後足蹄冠・乳房の水疱・糜爛。起立不能。哺乳豚1頭が衰弱死



81

(No.102)

検体No.	畜種	用途	血液	スワブor 組織	RT PCR 3D	症状
1	豚	繁殖	○	○	-	著変なし。No. 2、3の隣ストール
2	豚	繁殖	○	○	+	鼻・右前肢蹄冠・乳房の水疱・糜爛。哺乳豚1頭の蹄も糜爛。
3	豚	繁殖	○	○	+	鼻・左後足蹄冠・乳房の水疱・糜爛。起立不能。哺乳豚1頭が衰弱死

RT PCRはスワブを用いた。

+: 陽性, -: 陰性